

交流会2017 レポート

今年で3回目を迎えた交流会。参加者も年々増えて、今回は91名の方々がここに集まりました。認定フォローアップセミナーを1日受講した後でしたが、皆様この笑顔です。きっとお疲れだったと思いますが仲間同士で語り合う事で、それぞれが元気をもらうことが出来たのではないのでしょうか。



今回の司会は、関東ブロック 廣川ブロック長でした。和やかな中でも活気のある、楽しい交流会となりました。そんな交流会の様子を報告させていただきます。



～ 協議会の研究活動 ～



今期より当協議会の研究活動支援担当理事に就任された 大友理事より、研究活動支援について紹介がありました。研究活動に関してはブロック内でも、同期でも、会員同士のグループであればエントリーすることが出来ます。次年度研究の公募は来年1月からですので、ぜひご応募ください。

昨年度から引き続き研究活動されている関東ブロックより、中間報告をして頂きました。研究報告は、年度末の事業報告書に掲載させていただきます。



～ 講演・実践報告 ～



「今世の中で必要とされていることはなんだろう？」というところから、今年は「小児訪問看護」をテーマにしました。訪問看護認定看護師として何が求められているのか、現在の小児訪問看護についてと、訪問看護認定看護師に期待されることを、日本看護協会 荒木暁子常任理事よりご講演頂きました。

そして、小児訪問看護の実践報告として、あすか山訪問看護ステーションの田中道子所長にお話し頂きました。

～ グループワーク ～

後半のグループワークは「医療的ケア児を地域でサポートするために、自分達は何ができるか」をテーマに話し合いました。既に地域で取り組んでいるところ、まだ経験がない人、様々な方からたくさんの情報を得ることができました。参加された方々より、短い時間でしたが密度の濃い交流会だったというご意見を多数頂くことが出来ました。



もっと聞きたかった、もっと話したかった。名残惜しい締めくくりになりましたが、この思いは次回6月の総会・研修会に活かして行きたいと思えます。



2018年度の総会は 6月2日(土)
大阪でお会いしましょう!!